

高知市長選挙 選挙公報

高知市選挙管理委員会

◇この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。



久保ひびる

高知市の未来八策

高知市を 変える! 即戦力!

プロフィール
昭和29年、生まれ。土佐高校卒業、
東京都立大学卒業、高知県庁 土木部道路課長、
観光振興部部長、前高知県議会議員。

一策 「チーム高知市役所」の実現

- ◎ 前例にとられない柔軟な人事異動 ◎ 職員満足度調査の実施
- ◎ 全職員の参加による市役所の「経営理念」や「基本方針」の作成

二策 高齢者の福祉

- ◎ 管理栄養士や保健師が百歳体操の場を訪問して介護予防と保健事業を一体化 ◎ 特定健診の受診率向上 ◎ 在宅歯科医療の推進
- ◎ 障害者相談センターを拠点に相談・支援を強化

三策 子育て支援

- ◎ 中学生までの医療費無料化 ◎ 3〜5歳児の副食(おかず)費の無料化
- ◎ 乳幼児健診の受診率向上 ◎ 発達障害児の支援充実
- ◎ ファミリーサポートセンターの普及促進や延長保育、一時預かりなどの充実

四策 教育の力

- ◎ 指導主事の増や学校への訪問指導の充実による学力向上
- ◎ 子どもの体力向上 ◎ 校内支援会対策チームによる不登校の予防
- ◎ 校則で児童生徒に通学時のヘルメット着用を促す

五策 産業の振興

- ◎ 高知市版の「産業振興計画」の策定
- ◎ 市街化調整区域内の「開発のあり方」を議論 ◎ スポーツ振興条例の制定
- ◎ よさこいの振興に向けた「よさこい会館」の建設を検討
- ◎ 温泉開発や空き店舗の活用支援などによる中心商店街や周辺商店街の活性化
- ◎ 民間活力を導入した桂浜みやげ物店等の再開発

六策 南海トラフ地震対策

- ◎ 神戸湾(三重防護)の早期整備 ◎ 長期浸水区域などでの避難所の確保
- ◎ 南海トラフ地震時の救助や救出に向けた実効性のある計画の策定

七策 構造的な高知市の財政再建

- ◎ 国、県の交付金や補助事業の積極活用
- ◎ 国の政策提言で有利な制度の創設や予算の獲得
- ◎ 産業振興による市税の増加
- ◎ 教育の力によって貧困を断ち切り、扶助費を減少

八策 常に開かれた市政の運営

- ◎ 西敷地は民活白紙の再議論、そして当面は芝生広場の整備
- ◎ 小学校区ごとに市長と住民が対話する「車座談義」の開催
- ◎ 市議会各派との「車座談義」
- ◎ 春野、土佐山、鏡の各地域振興課の強化



政治には力があります。新たな法律や規則をつくったり、また反対に規制を緩めたり、廃止することもできます。市長の役割は、その力によりよい未来を創ることにあります。これまでの政治や行政はいつたり始めたことを変えることができず、何十年経ても解決しない問題を多く抱えています。しかし本来、政治こそ常にクリエイティブな変化が求められています。原点となる思いや理念を失わなければ、いくら変化させてもいいはず。目先の利益を優先させるのではなく、50年先、100年先を考える、持続可能性を常に意識し、現在の枠組みを超えて、まずは自由な発想で考えてみる。そのあとに法律や制度の問題を解決する。政治の力を信じ、皆様と共に素晴らしく変わっていく未来の高知市が共有できれば幸いです。

政治の力を信じて。

昭和55年10月22日天秤座 高知市福井町生まれ
高知大学教育学部附属小学校卒
高知学芸中学・高等学校卒
早稲田大学教育学部社会科学専攻入学
早稲田大学第二文学部文学言語専修卒業
衆議院議員中谷元私設秘書
平成23年 高知市議会議員初当選、以来2期を務める
自民党高知県連青年部長、自民党高知県連青年局長代理を務める

高知が動けば、日本が変わる
フルスイング。



「濱口たくやの政策フルスイング」を
「変わらぬ」を変えていく

1 経済

経世済民の基本理念に立ち返る
本来、「経世済民」は人々の暮らしを救うという意味です。経済を豊かにすることは、高知市、高知市民の暮らしを豊かにすること。これに尽きます。

- 市の公共工事、物品購入を市内・県内企業に優先発注する仕組みづくり
- 諸外国との経済開発協定の締結推進・インバウンド促進
- 地域通貨の発行
- ベンシックインカムの制度化検討
- 中央卸売市場の在り方見直し
- 自治体の電力の自主供給に向けての研究
- 中心市街地活性化のための用途地域、固定資産税等の再検討

4 ユニバーサルデザイン

快適な暮らしはみんなのもの
どのような立場の人々も快適に暮らすことのできる社会の実現を目指します。少しの段差や、公共交通のあり方など、見方を変えると様々なことに気がつきます。日々自然と暮らす中に安全が含まれていることが理想です。

- 先進的認知症介護の推進
- 農福連携をはじめとした障がい者の就労環境整備
- 就労支援教育の全面的見直し
- 生活保護受給者の経済的自立支援体制構築
- 車いすやベビーカーでも自由に動けるまちづくり

2 行政改革

ぜんぶ、見直します
国から言われたことでも、高知市の現状に合わないものは必要ないと言う姿勢も大切です。本当に税金でやる必要があるものをより分け、行政コストを出来るだけ抑え、市民の方々の税負担を軽減していきます。

- 補佐官制度の導入
- 2期8年の限定市政
- 施政方針に基づく部の方針作成と職員への浸透
- 市長と市民の懇談会
- 事務事業の簡素化・効率化
- 職員採用・人事考課・人員配置の刷新
- 職責、能力に合わせた給料表整備
- 公共施設の適正化と施設管理の一元化

5 都市設計・防災

都市の構造自体を見直す
都市のランドデザインが人々に与える影響は大きく、防災にも深く関わります。高知市の置かれた立地条件においてどのような都市デザインが最も高い価値を生み出すのかを長期的なビジョンで考えます。

- オーテピア西敷地を芝生広場として整備し、各種イベントの開催
- CLTの利用推進、木と竹のまちづくり
- 百年先を見据えた山林保全としての林業の創出・環境産産化
- 50年後の市街地が区画整理されていることを目指す
- 公共施設の最適化

3 子育て・教育

可能性は財産そのもの
社会の根底を支えるもの、それが子育てであり教育です。心技体、いかに能力を伸ばし社会の中でやりがいを持って生き続けられるか。現在の教育制度の枠組みを超えて、可能性を最大限発揮できる環境を整え、全世代が多様性を持って学び合える街にします。

- 児童手当の増額
- 幼児教育の積極導入
- 児童虐待防止のための家庭支援充実
- オーガニック・低アレルギー食材の給食への導入
- 特別支援教育の環境改善
- ICTによる教育の環境整備
- 幼稚園から大学までの教育機関連携

6 文化・スポーツ

すべての原点、私たちの街
現在高知市と呼ばれているこの場所も太古の昔から独特の風土や人々の暮らしがありました。その源流から導き出されるものこそ政治の原点となるべきものです。もともとあるものから現代に派生させていけば、根の深く広く張った文化の太木が育つものと思います。

- 土佐茶を活用した煎茶文化の普及
- サーフィンやボディボード、海を活かしたスポーツ・競技イベントの誘致
- 競輪場を拠点としたBMX等自転車競技の聖地化
- ロードバイクが楽しめるまちの整備

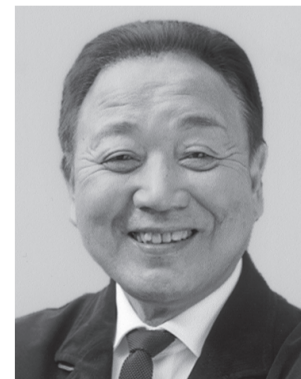


濱口たくや

高知市生まれ39歳

安倍自民党政治 NO!

くらしを守る高知をあなたの力で



おかだ泰司

民主市政の会・元高知市議(5期20年)

今、求められるのは

1 安倍政治と対決し高知の暮らしを守る人

消費税の連続増税、社会保障の切捨てで、暮らしも営業も「限界」この声に応え、地方から政治の転換をめざす人が必要です。

高知の新しい時代を拓くのは安倍自民党政にきちんとモノを言える人です。

おかだ泰司は、市会議員、業者の代表として、消費税増税反対、国保料引き下げの運動の先頭にたってきました。

2 弱い立場の人に光を当て住民が主人公を貫く人

総理主催「桜を見る会」に、自分たちの後援会員を大量に招待し、タダで飲み食いさせる。税金を私物化する。安倍自民党政は許せません。

政治は、弱い立場の人にこそ光をあて、税金を使う責任があります。

おかだ泰司は、市民が主人公を貫いてきた人。ごみ袋有料化阻止、中学校給食実現、西敷地は「広場がいいね」と運動・市民の願い実現に奮闘してきました。

わたしの重点政策

- 安倍自民党政治の市政への持込みと対決し、市民の暮らしを守ります
- 中学生の医療費無料化、国保料の多子世帯の減免制度の実施
- 水道・下水道の減免制度の創設
- 介護保険料の負担軽減
- 住宅リフォーム助成の復活。生活密着の公共工事で、仕事づくり
- 体育館への空調設置。避難所の改善
- オーテピア西敷地は、緑の広場に
- 大型事業の抑制、ムダ排除で財源確保



オーテピア西敷地を詠む
センダイヤ(楼) 緑の広場に咲いて、そよ風
自由民権風格の都市

《おかだ泰司 略歴》1950 生れ。愛宕中、高知商業卒。協和銀行に2年間勤務後、父親と米屋を開業。保険代理店など営む。●PTA 役員、薊野上橋詰北町内会長など歴任 ●元日本共産党高知市議、元高知民商会長 ●趣味 映画鑑賞、カラオケ、短歌

高知市長選挙 選挙公報

高知市選挙管理委員会

◇この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。



なかじま 中島やすはる

10月16日時点で私含め5名の候補者が出馬を表明しました。この時点で政策発表している候補者は一人もいませんでした。にも関わらず高知市市議会議員（定数34人）は各候補者の支持を表明しております。なぜ政策も見えていないのに各候補者の支持ができるのか、私にはわかりません。只、分かっていることは、市議会議員全員思考停止に陥っています。これが市議会議員の現状です。私は声を大にして言いたい。「議会において市民を巻き込んだ政治闘争をするな」と。本来議会は、市民の為にあらなければならないはずですが、これを変える方法が一つだけあります。それは市民が**選挙に行く**ことです。投票率が上がれば既存の政党（組織票）は落選します。その危機に直面したら議員はマトモに仕事をするでしょう。お願いします。投票に行ってください。私の政策に賛同できなければ私に投票しなくてもいいです。しかし、必ず投票に行ってください。自分の意思を示すのです。

●投票率の底上げ

投票に行けば高知市内で使用できる 1000 円分の商品券を配布。

●高知市の学力の底上げ

文部科学省をはじめ中央官庁などからの人材招聘、少人数学級編成の実現。

●農業を守る

日本古来の種子の保存と確保、モンサント社の農業の禁止。生産者高齢化にともない機械に補助金を出し生産性の向上。

●福祉、保育への厚遇

日本国籍を有する介護士の人材確保、市から介護士本人への補助金。保育士本人への補助金、母子手帳の電子化。

●規制緩和ではなく規制の強化

白タクは条例で禁止、民泊は条例で禁止、水道の民営化禁止。

●南海トラフ地震特需

長期的に膨大な予算をつける。
政府に「高知市地震津波対策特区」として打診。
早期に電柱の地中化。

「共生社会実現」へ!

暮らしを元気に豊かに変える 5つのビジョン

- 1 災害に強く命をつなぐ あんしん の高知市**
 - 三重防護による浦戸湾の地震・津波対策(国・県事業)
 - 長期浸水域の住民避難対策
 - 上下水道の耐震整備
 - 住宅の耐震化促進
- 2 交通と社会環境を整備する あんぜん な高知市**
 - 新庁舎の整備
 - 消防署所の再編
 - 旭駅周辺市街地整備事業の推進
 - 安全な交通ネットワークの確保
 - 要介護認定者世帯へのふれあい収集
- 3 子どもと高齢者・障がい者の健康を支援する すこやか な高知市**
 - 子育て支援と学校教育の充実
 - 高齢者支援の充実
 - 障がい者支援の充実
 - 子どものアレルギー疾患への支援
 - 生活困窮者への支援
 - 市民の健康づくりの推進
- 4 観光とまちの活性を図る にぎわい の高知市**
 - 中心市街地の活性とイベントの発信強化
 - インバウンド観光の強化推進
 - 商工業の振興
 - 農林漁業の振興
- 5 地域社会と市民生活のうるおいを 共につくる 高知市**
 - 地域共生社会づくりへの取り組み
 - 移住・定住への案内・促進
 - 広域都市圏連携の推進
 - 市民交流市場定期的開催
 - オーテピア・マルシェ(市)の推進

「活性」と「にぎわい」、そして一人ひとりの「幸せづくり」へ全力で挑戦します!

令和が明け、折しも今年高知市は、市制130年を迎えました。平成15年11月30日高知市長に就任。高知市のリーダーとしてまちづくりを託されて以来「市民に寄り添い、思いを汲み取れる市政」を心に留め、着実に高知市の基盤づくりに取り組んでまいりました。市長である限り、私には「このまちに暮らす皆さんが、幸せに次代を生きられる礎をつくる」という使命があります。全国一安全で住みやすい高知市の実現に向け、16年間、私の志は一度たりとも揺らいだことはありません。4期を費やしてきた長年の取り組みが一つまた一つと実ってきた中で、今年新たに、これからのまちづくりの骨格をなす「高知市・共生社会実現への5つのビジョン」を作成しました。いま心から、高知市に暮らすことの幸せを全市民に実感いただきたい。その一念で、職員一同力を合わせ、まちづくりへの挑戦を続けてまいります。



高知市長候補 おかざき 岡崎せいや

令和を力強く生き抜く
「共生都市」づくりが、
高知市を変えます!

岡崎せいや(誠也)プロフィール
昭和28(1953)年、高知県宿毛市生まれ。66歳。高知学芸高校を経て、青山学院大学経済学部へ入学。昭和50年3月同大学卒業。家族/妻と娘一人。昭和50年4月高知市職員に採用。財政課長、企画調整課長、観光課長、産業振興部部長を歴任。平成15年11月に高知市長初当選。現年4期目。現在、中核市長会副会長、全国国民健康保険中央会会長、全国市長会副会長、高知市長会副会長を務める。

投票日 令和元年11月24日(日)

投票時間 午前7時から午後8時まで
(鏡・土佐山は午後6時まで)

